

主催: 応用物理学会分科会 日本光学会
微小光学研究グループ

第 118 回 微小光学研究会



「最先端光材料と微小光学」

日時: 2010年12月3日(金) 10:20-17:10

会場: 東北大学 電気通信研究所 大会議室(片平キャンパス)
仙台市青葉区片平 2-1-1
<http://www.riec.tohoku.ac.jp/>

交通: JR 仙台駅 徒歩 20 分
地下鉄 五橋駅下車(北 2 番出入口より地上へ) 徒歩 8 分
バス 仙台駅前西口バスプール 11 番・霊屋橋経由
に乗車 東北大正門前で下車 徒歩 7 分
または
仙台駅前西口バスプール 12 番・長町ターミナル行に
乗車 東北大正門前で下車 徒歩 7 分



プログラム

10:20~10:30 開会の挨拶

10:30~11:00 銀微粒子二次元結晶における協同的局在プラズモン共鳴現象

玉田 薫 (東北大)、岡本 晃一 (京大)

11:00~11:30 高屈折率および低屈折率ハイブリッド材料の開発と透明フィルム応用

森下 丈弘、姜 義哲 (日油)、阿尻 雅文 (東北大)

11:30~12:00 高屈折率光硬化ナノコンポジット材料の開発

上野 信彦 (三菱化学)

12:00~13:20 < 昼食休憩 80 分 >

13:20~13:50 液晶場を利用した高分子ナノ構造制御とその光学材料への展開

渡辺 順次 (東工大)

13:50~14:20 分子機械の回転運動の光 ON-OFF スイッチ

玉置 信之 (北海道大)

14:20~14:50 有機 EL による車載用曲面ディスプレイの実現に向けて

坂口 幸一、明渡 邦夫、佐藤 敏一、野田 浩司、土森 正昭 (豊田中央研究所)

14:50~15:10 MOC 10 報告

後藤 顕也 (東海大)

15:10~15:30 < 休憩 20 分 >

15:30~16:00 環境半導体光デバイス—豊富で安全な資源を用いた光デバイス用半導体の開発

末益 崇 (筑波大)

16:00~16:30 KTNを用いた高速光偏向器とその応用

八木生剛 (NTT)、佐々木雄三 (NTT アドバンステクノロジー)、今井欽之、宮津純、豊田誠治、笹浦正弘 (NTT)

16:30~17:00 ガラスの結晶化と非線形フォトンクス応用

高橋 儀宏、井原 梨恵、藤原 巧 (東北大)

17:00~17:10 閉会の挨拶

参加費: 一般 4,000 円、学生 1,000 円 (資料代含む、当日ご持参ください)

参加申込: 不要(直接会場にお越し下さい)

担当委員: 小路 (住友電工)、寺田 (フジクラ)、宮本 (東工大)、高橋 (住友電工)、杉原 (東北大)

問合わせ先: 東北大学 多元物質科学研究所 杉原 興浩

E-mail: sugihara_tagen.tohoku.ac.jp Tel: 022-217-5672 Fax: 022-217-5671

(を@に変えてお送りください。)

微小光学研究グループ: 代表: 伊賀 健一

副代表: 後藤 顕也

運営委員長: 黒田 和男

運営副委員長: 波多腰 玄一

実行委員長: 中島 啓幾

実行副委員長: 横森 清

プログラムは、微小光学研究グループ: <http://www.comemoc.com/> でもご覧になれます。